

【報告 消息】

・林眞光修養生 昨日と本日は茅ヶ崎シオンで奉仕です（日帰りで蒲田より通っています）。礼拝奉仕のほか、夏キャンプを行えなかったCSのプログラムを担当しています。

また、今週は26日金曜日から一週間の予定で石岡シオンへ出向。礼拝と祈禱会での奉仕、ほかにも作業などを予定しています。忙しい夏を過ごしている修養生のために祈りください。主の御手の内にあつて伝道者としての良き訓練の時となるように。

・小学科・ホザナ 夏のキャンプは小学科が中止、ホザナ会（中高生科）は延期（10月）となり次世代への福音宣教は痛手を受け、子どもたちもつらい夏を過ごしています。

つきましては、代替プログラムとして小学科は22日（月）、ホザナ会は23日（火）にそれぞれ野外でのプログラムを予定しています。主の守りと子どもたちに祝福があるように、また労するスタッフのために祈りください。

・ガレージの片付け、ゴミ処理を、過日、若月伊佐久兄が行ってくださいました。たいへんきれいになりました。尊いご労に感謝します。

・大雨の影響もあり、教会堂の地下2階印刷室で雨水の侵入がありました。地下は壁が二重構造になっていて、本来は外から侵入した雨水は二重壁から地下にある湧水槽に落ちる構造になっています。しかしながら排水管のつまりなどがあり印刷室に侵入し室内が水浸しになりました。居合わせた教会員の方々が床を拭くなど対処してくださり感謝でした。また、若月兄がすぐに駆けつけてくださり応急処置をしてくださいました。

この件について、本日21日午後印刷室の片付けを行います。ご都合のつく方はお手伝いください。

雨の多い季節を迎えています。教会堂も雨の対処が必要な箇所があります。大きな支障が出ないよう祈りください。

雷はエジプト全土にわたって、人から家畜に至るまで、野にいるすべてのものを打った。野の木もことごとく打ち砕いた。ただ、イスラエルの子らが住むゴシエンの地には、雷は降らなかつた。 出エジプト記 9章25、26節

主は、エジプトで奴隷として虐げられていたイスラエル人を顧みて、彼らをファラオの支配から解放すべくモーセを遣わしました。しかし強情なファラオはイスラエルを解放しようとせず、モーセを遣わした主に対しても不遜な態度を取りました。そこで主はエジプトに十の災いを送りました。

ナイル川の水が血に変わったことに始まり、蛙、ブヨ、アブ、疫病、腫物、雹、いなど、闇が次々とエジプトを襲い、最後は各家庭の長子が打たれて死にました。

主はどのような意図で十の災いをエジプトにもたらしたのでしょうか。それは、主こそ眞の王、眞の神であること

を人々に悟らせ遜らせるためです。

時に人は、大きな出来事を経験しなければ見るべきものを見ることができず、気づくべきことに気づかないということがあります。主は、自分の力がすべてだと高ぶるファラオとエジプト人に災いを送り、人間がいかに小さく儂い存在であるかを示したのです。それは、眞の神へ立ち返れという主のメッセージでした。

そしてこの出来事は、イスラエルに対する主の語りかけでもありました。

エジプトに襲いかかる十の災いの渦中にイスラエルも身を置いていました。ナイル川の水が血に変わったことや蛙・ブヨ・アブ

の大群を目の当たりにして、彼らも恐れ不安を抱いたことでしょう。しかし、彼らが住むゴシエンはすべての災いから守られた（26）。イスラエルは十の災いを通して、主が天地万物を支配される御方であることを悟り、なおかつ、主が自分たちを守ってくださることを経験したのです。

「神は裂いて包む御方」「神の裁きは救いである」という言葉があります。私たちは不幸と思える出来事があると、なぜこんなことが起こるのかと嘆き、時に主への不信を抱くことがあります。けれども主は、災いと考えることを通しても人に問いかけるのです。人が「私は主を知らない」という生き方を改めて、眞の神と共に生きることを求めているのです。神の働きかけとそこにある語りかけになんと応答するか。それが私たちに問われていることです。（泰）

8月21日 聖日礼拝

第1礼拝 9時 穂谷牧師 荻野し兄
第2礼拝 11時 (録画放送)

招 詞 マタイ11章28節

会衆賛美 聖歌35(1〜4節)

会衆賛美 神の国と神の義を(1回)

主の祈り

交 読 詩篇5篇1〜12節

礼拝祈禱

使徒信条

聖書朗読 出エジプト記

説 教 神の働きかけ 9章13〜26節
荻野泰弘牧師

会衆賛美

頌 金 聖歌407(1〜4節)

祝 禱 聖歌376

報告

後 奏 感謝祈禱

【招 詞(主の招きのことば)】

マタイ11章28節

「すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのよき来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」アーメン

【本日の予定】

■礼拝映像ネット配信 9時から

■第2礼拝 コロナ禍での特別対応につき、礼拝堂ではネット配信を放送します。

■小学科ホザナ礼拝

対面・オンライン併用
3階 10時半〜11時半

■バイブルカフェ 中止

■印刷室片付け 12時45分〜

■礼拝賛美委員会 13時半〜

【本日の奉仕者】

■第1礼拝

礼拝祈禱 司会者
聖書朗読 司会者
献金1階 司会者
献金祈禱 司会者
報告 荻野泰弘
受付 金川和子
配信 荻野恵行

【次週28日の礼拝説教】

聖 書 ルカの福音書 19章41〜48節
説教題 「エルサレムにて」
説教者 穂谷弘二牧師

【新型コロナウイルス対応】

発表されている数値を見ると新規感染者数は東京では減少に転じています。このことから、感染拡大もピークアウトしたのではないかと指摘する専門家もいます。一方でこの数値については、医療機関の逼迫により検査数が増えているから減ったように見えているだけの指摘や、お盆帰省の反動で今後感染が再拡大するとの懸念も示されています。なによりも医療機関の逼迫はいまだ改善されていないようで、人づてにも、発熱しても発熱外来にかかれな、という声が聞こえてきます。まだまだ油断できない状況であることを認識します。

これらのことから教会の対応としては、9月11日までをコロナ緊急対応とします。オンラインを利用できる方はそちらをご活用願います。但し、礼拝堂での礼拝出席を希望される方は、事前にご連絡をいただいた上でご出席ください。礼拝堂は換気の徹底など感染対策を十分に行っています。

創立記念を迎えるとき、自由に集まれないことは残念ですが、主の導きに基づいて歩んで参りましょう。

【聖日礼拝について】

■8月28日、9月4日、9月11日
《コロナ緊急対応》

- ・第1礼拝 通常通り実施
オンライン配信9時〜
- ・第2礼拝 礼拝堂では録画を放送
バイブルカフェ お休み
- ・小学科ホザナ礼拝
対面とオンラインを併用して実施

※9月4日のみ創立記念礼拝のため第2礼拝も録画ではなく行います。

※礼拝堂での礼拝出席を希望される方は第1礼拝または第2礼拝にお越しください。事前の出席予約をお願い致します。

発熱があるほか、喉が痛い、だるさを感じる場合には、出席は控えてください。

■9月18日以降

通常に戻すことを願っています。コロナ感染拡大の状況を見て判断します。週報にてお知らせします。

お祈り感謝

主任牧師 荻野泰弘

皆様の尊いお祈りを感謝します。本日の礼拝説教より奉仕に復帰します。

丸4週間の長きにわたりお休みをいただきました。背後でどれだけ祈っていたかと思うと感謝の言葉は尽きません。今後は疲れすぎないようにするなど、自分との付き合い方も調整していく必要を感じています。今読んでいる信仰良書からも、物事を自分で操作することを手放し、神の導きを待ち望み、そこに従っていくときに神の栄光が顕される、との内容が心に留まっています。

これからも皆様の助けをいただきながら、共に神の導かれるところに進ませていただきたいと願います。

当面は、コロナ緊急対応の期間延長もあるので、少しゆっくりと進ませていただきますながら体をなじませていきます。

これからもお祈りをよろしくお願致します。